



トップスニュース

Vol.89

2016年8月25日

加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダース



ワクナガレオリック



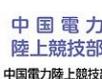
広島メイプルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT西日本広島
ソフトテニスクラブ



中国電力
陸上競技部



ココ・コーラウエスト
レッドスパークス



広島東洋カープ

トップス広島 事務局

〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2

ターミナルビル1F

TEL:082-233-3233

URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



スポーツ通し平和発信



広島東洋カープ

そろって初の

8 ・ 6

ホームで試合



サンフレッチェ広島

ピースナイター

一生懸命やる姿を見せる

メッセージ映像

好きなことが出来る幸せ



カープの原爆忌のホームゲームは4度目。巨人とマツダスタジアムで核兵器廃絶と野球が出来る幸せをアピールする「ピースナイター」として行った。

ユニホームの左袖に原爆ドームなどがあしらわれたワッペンをつけて臨み、5回終了時には内野2階席に原爆ドームと同じ25mの高さで赤いピースラインが浮かび上がった。

選手は平和だからこそ野球が出来る喜びを胸に、一生懸命プレーする姿をダイヤモンドで表現した。

8月6日。広島にとつては特別の日。プロ野球のカープとJリーグのサンフレッチェが初めてそろってホームで試合をした。平和だからスポーツができる。両チームの選手や観客は試合前に黙とう、平和への祈りを胸に試合に臨み、世界初の被爆地から平和を発信した。



サンフレッチェはJリーグが開幕して初のホームでの試合。エディオンスタジアムに名古屋を迎え「好きなことが出来る幸せ」を胸に戦った。

選手入場時に観客が「平和に感謝」のスローガンとシンボルマークが描かれたパネルを掲げ、スタンドを緑に染めた。ハーフタイムには6本の「祈りの光」が夜空に浮き上がり、トップス加盟の9クラブの選手の平和への思いを語ったビデオメッセージが大型ビジョンに映し出された。



広島ガス
バドミントン部

高校生と 実戦練習

広島ガスが7月29、30日に呉市安浦公民館ホールで開かれた高体連夏季強化合宿に参加、実戦を中心に指導を行った。

中でもインターハイでの好成績を目指す選手たちは、猛烈な暑さにも関わらず真剣にそのもの。本番での活躍を目指してシャトルを追った。

高校生たちは選手にアドバイスを求めるなど、県代表としての誇りと責任、使命を胸に、レベルアップに懸命にチャレンジした。



インターハイ カ出し切ろう 広島ガスがアドバイス

リオ悔し

リオデジャネイロ・オリンピックに日本代表として参加したトップス加盟のサッカー男子サンフレッチェエコンビ、ホッケー女子のコカ・コーラウエストの5人に大きな期待が寄せられたが、残念ながらチームはともに1次リーグで敗退、目指したメダル獲得はならなかった。4年後、東京大会での巻き返しを託そう。

サッカー男子

浅野惜別 2 ゴール

1968年のメキシコ大会以来のメダル獲得を目指したサッカー男子日本代表。初戦ナイジェリア戦で守りが崩壊して5失点と苦しい戦いが続き、最終のスウェーデン戦で初勝利を挙げたが、1次リーグ3位となり、2大会連続の準々決勝進出はならなかった。そうした中で光ったのがアーセナルに移籍の浅野。1964年杉山隆一、2012年大津祐樹に並ぶ日本史上3人目の2試合連続得点を挙げた。

ホッケー女子

錦織、日本初得点

ホッケー女子日本代表「さくらジャパン」には小野真由美、三橋亜記、錦織えみ、西村綾加、湯田葉月と過去最多の5人が参加した。1次リーグB組の日本は初戦のインドに引き分けに持ち込まれたのが響き、1分4敗で5位。各組上位4カ国が進む8強入りを逃した。インド戦で錦織が第1ピリオド15分、PGから日本初ゴールを挙げたが、勝利にはつながらなかった。

中国電力
陸上競技部
中国電力陸上競技部

駅伝に照準 初のロード

渡邊 士別ハーフ

中国電力期待のルーキー、渡邊心が7月24日、北海道士別市の士別中央公園をスタート・ゴールとするサフォークランド士別ハーフマラソンに出場した。

結果は1時間6分23秒、本人にとっても不本意なタイムで16位に終わったものの、秋からの駅伝シーズンに備えるの貴重なレースとなった。

この大会は今年で30回を迎えた節目。実業団や市民ランナーが多く参加して盛況だったが、気温は26度、強い日差しが照りつけるコンディショ的には、あまりいいとは言えない中でのレースだった。

織田記念陸上5000mなど多くのトラックレースで経験を重ねてきた今春入社した渡邊。ロードレースは初めてのチャレンジだった。

スタート後からは第2集団に加わる力走を見せたが、昨年3月の青山学院大時代にマークした1時間3分7秒には遠く及ばない平凡なタイム。

しかしながら、駅伝シーズンが始まる秋以降には、チームにとっては欠かせないランナーとして期待されるルーキー。夏合宿をこなしていっそうの成長が待たれる有望株の一人に期待だ。

コカ・コーラウエストが6日、ホームのホッケースタジアムで小学生5、6年生を対象にしたジュニア育成プログラムの一環としてホッケー教室に参加、約50人に基本を手ほどきした。この事業は運動能力の高い児童に1年間にわたって各種競技を実践させ、適正にあった競技の育成をサポートするもの。将来のアスリート誕生に夢を託し、指導には熱がこもった。



コカ・コーラウエスト レッドスター

大きく育てて…
コカが小学生手ほどき

県民の誇り 200m平泳ぎ金藤「金」

リオ五輪にはサンフレッチェ、コカ・コーラウエストのほか、県勢では陸上男子短距離の山県亮太(セイコー)と競泳女子200m平泳ぎに金藤理絵(Jaked)が出場した。特に期待が大きかった金藤が2分20秒30で金メダルを獲得した。この種目で日本人選手の優勝は1936年ベルリン大会の前畑秀子、92年バルセロナ大会の岩崎恭子ら3人目。広島県関係では72年ミュンヘン大会の田口信教(競泳男子100m平泳ぎ)川口孝夫(柔道男子軽量級)ら5人目となった。

■全日本実業団選手権 成績■ (NTT西日本広島関係)

- ▽2回戦
- 2-0 J X 金属倉見 (神奈川)
- ▽3回戦
- 2-0 J R 北海道 (北海道)
- ▽4回戦
- 2-0 ベ ス ト (東京)
- ▽5回戦
- 2-0 三 菱 電 機 (愛知)
- ▽準々決勝
- 2-0和 歌 山 県 庁 (和歌山)
- ▽準決勝
- 2-0ア キ ム (埼玉)
- 村上・水澤 4-2
- 丸中・長江 4-1
- ▽決勝
- 2-0宇 部 興 産 A (山口)
- 村上・水澤 4-3
- 丸中・長江 4-2

NTT「完全」

ソフトテニス全日本実業団

2年連続13度目



ソフトテニスの全日本実業団選手権は7月30、31日に愛媛県今治市営スポーツパークテニスコートで来年の愛媛国体のリハーサル大会として開かれ、NTT西日本広島が男子で2年連続13度目の優勝を飾った。

水澤、長江、村上、船水、丸中、岩崎、原、林で臨んだNTTは、危なげない試合運びで勝ち進み、決勝の宇部興産A(山口)戦を含め7試合すべてで相手に1セットも与えないパーフェクトで2連覇に花を添えた。

2年続けて実業団の頂点をき
わめ喜びのNTT西日本広島



70回目を迎えた西日本ソフトテニス選手権は7月16、17の両日、奈良県の橿原公苑明日香庭球場などで行われた。NTT西日本広島からは8人が出場し、水澤・長江組が優勝を飾った。準決勝では村上・林組の粘りにあい苦しい戦いとなったが、競り勝って決勝にコマを進めた。決勝は一進一退から次第に相手を圧倒、4ゲームを連取して頂点に立った。

水澤・長江組

西日本選手権

- 西日本選手権 成績■ 3回戦以降
- ▽3回戦
- 村上・林 4-0 米吉・飯田 (奈良)
- 岩崎ペア 4-1 洋光・塚本 (学連)
- 水澤・長江 4-1 堀・山下 (熊本・福岡)
- 丸中・原 4-1 瀬口・松嶋 (愛知)
- 船水ペア 4-1 中尾・松田 (兵庫)
- ▽4回戦
- 村上・林 4-3 大野・平久保 (和歌山)
- 岩崎ペア 2-4 樫本・北谷 (学連)
- 水澤・長江 4-0 吉川・梅田 (奈良・大阪)
- 丸中・原 4-1 高津・工藤 (学連)
- 船水ペア 4-1 筋師・夏見 (和歌山・愛知)
- ▽5回戦
- 村上・林 4-1 新子・古田 (学連)
- 水澤・長江 4-0 中谷・伊加 (学連)
- 丸中・林 4-1 井原・山本 (学連)
- 船水ペア 4-1 高橋・樫本 (大阪)
- ▽6回戦
- 村上・林 4-3 大橋・中川 (徳島・高知)
- 水澤・長江 4-1 早川・向井 (京都)
- 丸中・原 3-4 小栗・今井 (愛知)
- 船水ペア 0-4 宮下・花田 (兵庫)
- ▽準々決勝
- 村上・林 4-1 香川・井口 (香川・宮崎)
- 水澤・長江 4-0 川村・越智 (山口)
- ▽準決勝
- 水澤・長江 4-3 村上・林
- ▽決勝
- 水澤・長江 4-2 宮下・花田 (兵庫)

黒田 日米200勝⇒



コイ 歓喜



←新井 300本塁打

カープ投打の両輪、黒田博樹投手と新井浩貴内野手が快記録を達成、ファンに感動をプレゼントした。黒田は7月23日、地元マツダスタジアムの阪神17回戦に先発、7回を投げ5安打、無失点で日米通算200勝をマークした。2005年の野茂英雄投手以来2人目。200勝投手は山本昌いらい8年ぶり。新井は駒大時代からなじみの神宮球場のヤクルト15回戦の2回、石川から中越えに2ランをを放ち、通算300号を達成した。プロ野球史上42人目。広島では山本浩二、衣笠祥雄いらい3人目。4月の2000安打に続く節目を刻んだ。いずれも白星で2人の記録に花を添えた。

守りの要 千葉 300試合

ミキッチ200試合 疾走



サンフレッチェにも節目の記録が相次いでいる。広島ひとすじ17年の森崎和幸が5月、G大阪を相手にJリーグ史上14人目、クラブ初となるJ1通算400試合出場達成に続き、夏場に2人が新たにJ1出場記録を達成した。千葉が7月30日、G大阪戦で87人目の通算300試合、8月13日にはミキッチが外国人では11人目の通算200試合に到達した。11年目の千葉は守りの要、8年目のミキッチはサイドを駆け上がるスピードが持ち味。

ブラジル出身のアンデルソンロペスが7月30日、G大阪戦の後半20分、宮吉に代わってJデビュー。積極的に攻めの姿勢を貫き、チーム最多5本のシュートを放った。今月13日の湘南戦では先発を勝ち取り、20日の甲府戦もスタメンに名前を連ねた。4試合でシュート14本。早くゴールが見たい。

G大阪戦でお披露目

期待のアンデルソンロペス



■千葉年度別■		
年度	試合	得
2006	14	0
2007	27	0
2008	31	0
2009	13	0
2010	33	1
2011	29	1
2012	33	1
2013	34	1
2014	30	1
2015	34	1
2016	25	0
通算	303	6

■ミキッチ年度別■		
年度	試合	得
2009	25	0
2010	16	1
2011	31	2
2012	28	0
2013	29	2
2014	20	0
2015	31	1
2016	21	1
通算	201	7
(注) 第2S9節現		

サンフレッチェも節目の記録

カープに待望のマジック20が点灯、いよいよ25年ぶりのゴール目指した戦いが熱く燃える。24日、東京ドームで2位巨人との直接対決を今シーズン両リーグトップ37度目の逆転勝ちした。

25年ぶりV 待望M点灯

真夏に再加速

マジックがとめるのは最後にリーグ優勝した1991年いらい。同時に両リーグ最速の70勝にも到達した。今シーズンは開幕から好調を維持、一時停滞したかに見えたが、真夏に再加速して独走を続けており、優勝に刻一刻と近づいている。

スライリーが女子サッカー盛り上げ

カープの人気者、マスコットキャラクター「スライリー」が11日、エディオンスタジアムでの女子サッカー、アンジュヴィオレの応援に駆け付け、盛り上げた。サポーターと記念撮影したり、ハーフタイムにはサイン入りボールをスタンドに投げ入れた。結果は残念ながらスコアレスドローだった。



頼むぞ 新戦力の2人

クレグ 山本 将平



新戦力が2人加わった。ピソットに代わる新外国人、ポーランド代表のクレグとFC東京から移籍の山本将平。クレグは身長205センチの強打が持ち味、山本も切れのあるスパイクに定評がある。Vリーグ王者奪回を狙うJTの貴重な戦力として期待される。

JT期待の大型ルーキーセッター金子聖輝が7月9日から台湾でのアジアジュニア選手権(U-20)に実業団選手としてはただ一人参加、6試合に出場した。結果は3位決定戦で韓国に逆転負け4位となり、2位以内に与えられる世界選手権出場権は得られなかった。



金子、台湾で奮戦

JT頼もしいルーキー

湧永製菓

ヒロシマ国際出場

メイプルレッズ

復活へ光が見える2位

2年連続日本リーグ4強入りを逃している湧永製菓の今シーズンにかかる気迫がこもり、光が指し込む2試合だった。

昨年は故障者続出でメンバー編成にも苦しんだが、徐々に回復。調整試運転の意味合いのほか、新人トリオの戦力を試すチャンスでもあった。

目立ったのはドイツ帰りの東江の攻撃力。2試合で12得点とチーム最多をマークした。また、野村も安定したプレーでシーズンへの期待をうかがわせた。成田は日本代表で戦い、攻守に健闘した。

第21回ヒロシマ国際ハンドボール大会は7月22日から3日間、マエダハウジング東区スポーツセンターで開かれ、男子の湧永製菓は1勝1敗で2位、女子の広島メイプルレッズは1勝2敗となり、SKオーフス（デンマーク）との対戦成績の結果により4位となった。



最終成績は最下位ながらメイプルレッズの若い力が日本代表「おりひめジャパン」を倒す結果を示し今シーズンの活躍に期待を持たせた。

初戦となったおりひめ戦。立ち上がりから積極的な攻めでキルケリー新監督率いる新生おりひめを圧倒した。

一時は2点差まで詰め寄せられたが、早い攻守の切り替えから得点を決め、一度もリードを奪われることなく金星につないだ。

メイプルがおりひめを破ったのは、4大会ぶり4度目。通算4勝6敗。

4大会ぶり日本から○

■湧永製菓成績■

○29 (19-10、10-13) 23江蘇省 (中国)
●27 (16-19、11-13) 32日本代表
※順位 ②1勝1敗
★優秀選手 東江 太輝
成田 幸平 (日本代表)

■広島メイプルレッズ成績■

○25 (10-6、15-15) 21日本代表
●22 (10-16、12-12) 28SKオーフス (デンマーク)
●24 (7-16、17-10) 26江蘇省 (中国)
※順位 ④1勝2敗 (3位SKオーフスとは対戦間の成績による)
★優秀選手 高山 智恵

新人堀川

おりひめに選出



広島メイプルレッズのルーキー堀川真奈(大教大出)が女子日本代表「おりひめジャパン」に選出され、デンマーク遠征に参加した。



全日本社会人選手権 31日開幕

4大会の今季第1弾



トップレベルのハンドボール4大会のスタート、全日本社会人選手権が31日、山形県東根市民体育館で開幕する。男女とも予選トーナメントに続き決勝リーグ、順位決定戦が行われる。

男子の湧永製菓の初戦はトヨタ自動車。続くトヨタ自動車東日本に勝てば4強リーグに出場する。女子の広島メイプルレッズはジャパンオープントーナメントを制した香川銀行が初戦の相手。勝てば前回初の4冠を達成、シードされた北國銀行との決勝リーグ第1戦に臨む。今シーズンを占う試合での好結果が期待される。

サイド注目

三重から村田移籍

メイプルレッズに日本リーグ加盟の三重から村田貴世が移籍した。スピードあふれるサイドプレーヤー。松村の抜けた穴をカバーする。



各チームの1推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆

中国電力陸上競技部
岡本 直己選手



生年月日 1984年5月26日
身長 176cm
体重 57kg
出身地 鳥取県

■担当者からひと言

チーム最年長。2年間成績不振が続いたが、今シーズンは復調の兆しあり。ここぞで頼れる選手



■安芸高田女子の結果■

▽リーグ戦
○20 (5-0、9-0、6-1) 1オムロン
○28 (9-0、9-1、10-1) 2ソニー
○15 (6-1、5-3、4-3) 7トヨタ紡織九州
○17 (5-0、6-3、6-2) 5メイプルレッズ
○12 (6-4、1-2、5-3) 9琉球コラスン
※順位 ①5勝

「湧永の妹」▽
ジュニアリーグ
西ブロック大会

ハンドボール日本リーグ加盟のジュニアリーグ西ブロック大会(8月5日から3日間・鹿児島)で湧永レオリック安芸高田女子が優勝。来年3月東日本ブロックと優勝を争う。



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

写真は1部を除き各クラブ提供